

## 不祥事が起きない強い会社の作り方

### ■経営者は“教祖”ではなく“宣教師の親分”になる

今回は会社の不祥事はなぜ起こるのかという話から、三菱自動車の例を取り上げ、生き残るつもりなら、経営陣の総退陣と主要幹部の総入れ替えをするか、国内外のまともな会社を買われるべきと指摘しました。

結果は不祥事発覚から3週間という短期間で、日産自動車の傘下に入ることが決まりました。ある調査会社によると、三菱自動車グループの下請企業の合計は全国で約7800社、一次下請先、二次下請先の総従業員数は約41万人を超えるということなので、彼らにとっても良かったと思います。ある面、軽自動車部門や三菱自動車が強い東南アジアや豪州での基盤を欲しかった日産の思惑通りに事が進んだとも言えます。

しかし中小企業がこのような不祥事を起こせば倒産は免れないため、そういうことを避けるためにも、まず、経営者が正しい考え方を身につけ、そしてそれを普段から時間を掛けて浸透させ、会社の体質を改善していくしかありません。そして、それはもちろん強い会社づくりにもつながります。

ところが「経営者の考え方を浸透させる」ところで、落とし穴にはまる経営者が少なくありません。経営者、とくに創業経営者には自分で会社を興して育て上げたという自負があります。また、創業経営者でなくても、会社をリードし、考え方の基本は自分なのだから、いわゆる“教祖”になってしまいがちな人がいます。それを望んでいる人もいます。

教祖になりたがる経営者は「自分の考えや言っていることは正しい、だから従業員は自分の考え方を学び従うべきだ」という姿勢で接します。若い時は謙虚であっても、年齢を重ねて会社の経営がある程度軌道に乗るとちやほやする取り巻きの現れ、謙虚さを忘れて教祖になりたがるのです。

私は経営者に対し「宣教師の親分になってください」と話しています。“教祖”と“宣教師”の違いが分かりますか？

### ■どうすれば部下がついてくるか？

教祖は頂点に立つ存在なので、自分の考えが絶対であると考えるので、会社に理念やビジョン、基本方針があっても、自分の考えはそれより上だということになります。教祖ですから。そして、その時々自分の考え方でビジョンや理念を無視して、言動を変えてしまいがちです。自分がビジョン、理念や基本方針よりも上にいるからです。これでは経営はぶれますし、経営者の考えが違ったときに会社が終わってしまいます。

宣教師は正しい考え方を伝える存在です。会社に例えれば経営者よりも上に理念やビジョン、さらに言えば、普遍的な正しい考えがあるので、それらに従うことで、ぶれることなく社員に会社の方針を示すことができます。会社もぶれません。つまり、ビジョン、理念や正しい考え方に経営者も従う。それらのほうが経営者よりも上にあるのがあるべき姿なのです。

「人としての正しい考え方」は、長い人類の歴史の中で磨かれ、仏教や論語、哲学などを通じて伝えられているものです。科学技術は日々新しいものが生まれますが、今の時代にまったく新しい「人としての正しい考え方」が生まれる確率は殆どありません。

だからこそ、理念やビジョンには昔から正しいといわれている考え方をベースにした経営の原理原則を盛り込んで、経営者宣教師の親分になって部下に伝えていくのです。そして部下は宣教師の子分として、さらに下の部下へ伝えていく。

東北から元気発進！！ワクワク“夢実現”プロジェクト

それによって考え方が浸透していくのです。

そこで経営者は部課長という宣教師の子分を育てるつもりで部下の指導を行う。それが不祥事を根本的に防ぐ唯一の方法です。

もちろんダブルチェックを行うとか、定期的に検査を行うというような不祥事を防ぐ仕組み作りは必要ですが、人材が腐っている場合は、どのような監視体制を作っても防ぎようがありません。逆に正しい考え方が浸透すればするほど、会社は強くなり、結果として好業績の会社が作れるのです。

繰り返し不祥事を起こしている三菱自動車には、残念ながら正しい考えを伝える宣教師がいなかったのです。東芝も同じです。とにかく経営者は、正しい考え方を身につけ、それを信じ、そして宣教師の親分になる。そしてその考え方をさらに広めてくれる宣教師の子分を作る気持ちで部下に接することが大切です。

## ■不正を働く社員が居にくくなる風土作りを

それでも、一朝一夕には正しい考え方は浸透しません。人が人をコントロールすることはできないからです。

それでも、経営者の本気度が高いほど、部下がついてくる可能性は高いことは間違いありません。経営者自身が正しい考えを信じることです。さらには、採用が大切です。素直な人でなければ宣教師の子分にはなってくれません。

それでも、部下の不正がすべてなくなるかと言われると、残念ながら断言はできません。ただ、周りにまともな社員が増えれば、早期に発覚しやすくなるでしょうし、不正を働こうとする社員は居づらくなってやめていくでしょう。

三菱自動車に限らず、旭化成建材の杭打ち工事のデータ改ざん、東芝の長期に及ぶ不正会計、東洋ゴムの試験データ偽造など不祥事が頻発しています。

真面目な経営を行っている大多数の経営者も今一度社内体制をチェックし、不祥事を起こさないためにも、さらには会社を強くし発展させるためにも、自らが正しい考え方を身につけ、それを信じ、宣教師の親分となることを心がけてください。

小宮一慶「週末経営塾 DIAMOND Online」より

## 訪問先での靴の脱ぎ方ー

まずは、NGの場面からご紹介します。

ピンポンのチャイムと同時に玄関のドアが開く

「どうぞ」と言われ、訪ねてきた人が入室

体も顔も玄関ドアに向かい、後ろ向きのまま靴を脱ぎ室内へ上がる。つまり「どうぞ」と言った家主へお尻をむけたまま...失礼ですね。

### スマートな入室方法

1. 出迎えた人と向かい合い、挨拶を交わす
  2. その向きで、靴を脱ぎ上がる
  3. 出迎えた人にお尻を極力向けないよう斜めにかがみ、靴を揃える
- デイリーマナー教室より

## 排水溝のぬめり予防

使い終わった後のアルミホイルを丸めて、キッチンの排水溝に入れておくとぬめりやニオイを防いでくれます。

アルミホイルと水の化学反応によって発生した金属イオンが細菌の増殖を防いでくれます。ぎゅうぎゅうに固めず、ふんわり丸めると水に触れる表面積が大きくなって効果をより発揮してくれますよ。

お掃除の際にも割り箸にアルミホイルを巻いてこすれば、手を汚すことなく、ぬめりがキレイに取れます♪

根元は抜けないようにセロテープで固定しましょう。

@おばあちゃん

東北から元気発進！！ワクワク"夢実現"プロジェクト